

情報誌 たかぎ



ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス info@vill.takagi.nagano.jp



我らのふるさとを守る

平成27年喬木村消防団出初式

今月号の主な内容

■ 広報たかぎ

- ・ 村長 年頭あいさつ …… 2～3面
- ・ 確定申告のお知らせ …… 4面
- ・ 自動車税増額割合の変更 …… 5面
- ・ 第4次総合振興計画進捗状況 …… 6面
- ・ 元気づくり支援金事業募集 …… 7面
- ・ お知らせ版 …… 8～9面

- 地域おこし協力隊だより ……10面
- 椋鳩十記念館図書館だより ……11面
- 保育園だより ……12面
- 学校だより 中学校 ……13面
- 健康アップPPK ……14面
- 社協だより ひなたぼっこ ……15面
- PHOTO GALLERY ……16面

2015

2

February



村の人口	6,386人(-12)
男	3,091人(-2)
女	3,295人(-10)
世帯数	2,037戸(-1)
(平成27年1月1日現在)	

編集 総務課/発行 喬木村役場 TEL 0265-33-2001 FAX 0265-33-3679
印刷 龍共印刷株式会社(飯田市上郷黒田 121-1)

新年を迎えて

喬木村長 市瀬直史



新年明けましておめでとうございます。

今年一年が皆様にとりましても、喬木村にとりましても輝かしい飛躍の年になりますようお願いしております。

改めて、新年にあたり、この喬木村の将来について考えてみました。

自治体が政策や計画を立案していく上で、人口構成の変化を把握することはとても大切です。「総人口」「働く世代の数」「高齢者の数」は、必ず把握しておかなければなりません。

子供の数については、出生率ばかりが注目されています。子供がたくさん生まれれば、人口は増えるといわれていますが、子供を産める女性の数は、既に30年前に決まっていますので、いま出生率が上がっても30年間は子供が増えることはありません。

これからは人口減少という大きな流れが持続することを念頭に入れて喬木村の人口がどのように推移していくかを20年から30年先まで把握しておかなければなりません。現在の推定では、今から約20年後、2035年に喬木村の人口は5394人に減少するとされ、現在人口より1000人以上も減少すると推計されています。特に深刻なのは、15歳〜64歳までの生産年齢人口が600人以上減少するだろうと推計されていることです。

人口構造の変化は、産業構造の変化にもつながり、雇用や税収といった点についても影響がありますので、人口構造の分析はこれからも欠かせざる必要があります。

高齢化が進む我が国の地域社会においては、これからの自治体経営に発想の転換が必要だといわれております。医療費、年金等、高齢化に伴う社会補

近畿圏の3大都市圏がリニアで一体化するというものですが、巨大都市圏に飯伊も含まれることになり、近い将来この飯伊地域でも大きな変化が起こると予想されています。

JR東海という民間企業によるプロジェクトで、この地域の将来像が開けることは、千載一遇のチャンスと捉えるべきなのでしょう。

このような情勢の中で、喬木村については先述したとおり、人口減少、少子高齢化といった課題の克服にどう立ち向かうかということになります。が、通年型の観光拠点を持たない喬木村として一番大きな期待を寄せているのが、新たなライフスタイルの醸成という観点であるかと思えます。

ICTの普及により、情報伝達は津々浦々瞬時に享受できる環境は整いつつあり、リニア開通の時間短縮により、都市部から伊那谷へは、旅行ではなく移動という概念に変わります。よりよい自然環境を求めて、一挙に移住とはいかないかもしれませんが、2地域居住であるとか、週末リゾートといった視点から、喬木村が都市部の人々の暮らす場としての選択肢に上がってくればありがたいと思っています。

そのためには、雄大な南アルプスと中央アルプスに囲まれた大自然を満喫できるような配慮しながら、地域づくりを進めていかねばなりません。今まで取り組んできた体験型農業観光やイチゴ狩り、リンゴ狩り、クライנגルテンの運営等で培ったノウハウを活かしながら、家庭菜園付きの宅地造成であるとか、遊休耕作地を活用した施設型農業の展開ができないか研究していきたいと考えています。併せて、喬木村の玄関口として、阿島橋周辺を交流拠点として整備していきたいと思っています。新規起業、あるいは企業誘致のための振興条例の整備も行い、やる気のある就農希望者のための基金も造成しました。準備は少しずつですが、進めています。

現在、村では、平成28年度からの十年間の第5次喬木村総合計画策定のた

償費の増大は国のみならず、喬木村のような小さな自治体にとりましては、危機的な大きな課題でありますし、行財政改革を行って歳出を削るだけでは、財政再建は出来ません。それは、地域経済が冷え込むだけです。経済成長があつてこそ税収は増加します。どのように富を生み出していくかが、最大の課題です。

ひとつは、絶え間なく住民理解を得る中で、公共の仕事を生み出していくことが肝要です。富を生み出す方策として、地域のイメージを高めていくことが大切だと考えております。自分の村には、何も無いと思つていらつしやる住民の方が多いのですが、確かに阿智村のように温泉地もスキー場もゴルフ場もない、あるいは、大鹿村のように圧倒的な自然環境がないといったことはありますが、日本最大の観光地は、ディズニールランドです。全く新しい作り物ですから、規模の大小はあろうかと思いますが、今何もなくても、何かを生み出せば、何かを新しく起こせばこの地域を変えていくことが出来ると思つております。この地域は、起業家にとって魅力的な地域だと思つて頂けるような地域のブランドイメージを高めることが、我々自治体の大きな任務だと思つております。

飯伊地域のそれぞれの自治体で、様々な取り組みがなされていますが、私は、行政の枠を超えた広域で、地域のブランド確立のための施策を共有していかねばいけないと思つております。

自主財源の乏しい下伊那地域の自治体は一丸となつて、これから訪れます高速交通網を活用した新しいブランドデザインを描いていかなきゃいけない時代ではないかと思つております。

そのために、今、足下の喬木村にお住まいの皆さんの生活の満足度を向上させた上で、新たな開発へと舵を切つていきたいと考えているところです。飯伊の市町村で形成する南信州広域連合では、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた新たな総合計画、第4次の基本構想基本計画の策定を進めています。この地域を大きく変える起爆剤としてこの高速交通網のもたらす便益があげられています。リニア新幹線がもたらす劇的な時間距離の短縮により、大都市圏や羽田空港、中部国際空港セントレアといった世界に向けた玄関口が1時間圏内となり、これまでの時間的距離のハンデキャップが解消され、大都市圏や世界に向けた立地となります。

国土交通省でも、2050年をターゲットとする「国土のブランドデザイン2050」を策定し、リニアが形成するスーパーメガリジョンと新たなライフスタイルの可能性について方針が示されております。首都圏、中京圏、

めに、むらづくり未来委員会を組織して検討を始めました。国土交通省の小さな拠点づくり調査に取り組んだ成果、国土のブランドデザイン2050を元にして、リニア・三遠南信道を活用した地域の活性化を図るため、必要なインフラ整備は、しっかりと計画に盛り込みたいと思つています。

長期的視点に立てば、最も必要なインフラ整備として主要道路の改良があげられます。天竜川を挟んで、西には国道153号線、中央自動車道路があり、リニア駅への基幹アクセス道路として想定されていますが、153号線については、慢性的な渋滞が発生しています。リニアを活用する人がストレスなく移動するためには、竜東にも幹線整備が必要であり、着工が決定した宮ヶ瀬橋の掛け替えを契機に伊那生田飯田線・竜東一貫道路を核とした道路整備が必要と考えています。そのための結節する村道の交差点改良等は、村の計画に位置づけ着実に改良を進めて参ります。

また、三遠南信道の有効活用を図り、竜東地域の利便性を高めるために、周辺市町村と連携を図る中で、リニア駅に直結する天竜川架橋について、取り組んでいきたいと思つています。

限られた財源と限られた時間の中で、今何をなすべきかしっかりと吟味し、充実した一年となるよう努力して参ります。

さて、いよいよ今年には、リニア新幹線について、JRによりまず中心線の測量が予定されております。

測量を終えて、詳細な実施設計を組んできますと、橋脚の位置、高架橋の構造、排出土の処分方法等々、事業説明会では明らかにされなかつた詳細な部分について、村・地元対策協議会・沿線住民の皆様を示されるものと思つています。

喬木村の豊かな未来への創造を現実のものとするため、まずは、沿線の皆様の不安解消に全力で取り組む覚悟です。

国は、「地方創生」・やる気のある自治体は、積極的に支援すると首相が表明されました。喬木村もガンガンやる気を出して力を合わせて豊かな村土を作りましょう。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。



所得税・村県民税の申告は正しく、お早めに

申告期間 2月16日(月) から 3月16日(月)

所得の申告は、所得税、村県民税(住民税)の計算基礎として使われるだけでなく、所得証明書、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、各種手当等の基礎資料になる大切な手続きです。

申告期限間近となると大変混雑しますので、申告は余裕をもって早めに済ませましょう。

役場での申告相談日について

- 相談日 2月16日(月)～3月16日(月) ※土・日・祝日を除く
- 相談会場 喬木村役場1階 税務係相談窓口
- 受付時間 午前9時～午後4時 ※正午から午後1時を除く

申告が必要な方

平成27年1月1日現在、喬木村に住所がある方は確定申告が必要です。ただし、下記に該当する方は申告の必要がありません。

- 税務署へ確定申告書を提出される方
 - 1カ所からの給与所得のみで、勤務先で年末調整を行った方
 - 収入が公的年金のみで、収入額が400万円以下の方(5頁 税務署からのお知らせ参照)
- ※所得金額が28万円を超えると村県民税が課税となる場合があります。必要に応じて申告をお願いします。

収入がなかった方も申告をお願いします

平成26年中に収入がなかった方、非課税所得(障害年金・遺族年金・失業手当・労災給付等)のみの方は、村県民税申告書の収入・所得の欄に0円とご記入いただき提出をお願いします。これは所得証明書・非課税証明書の裏付け資料とするため必要となります。申告書は税務係窓口でご請求いただくか喬木村役場ホームページからダウンロードをお願いします。

申告の際に必要なもの

- 平成26年中の収入が分かる書類
 - ・給与・年金等の源泉徴収票(原本)
 - ・農業所得・営業等所得の収支内訳書 ※作成の上、お越しく下さい。
 - ・給与以外の所得がある場合、収入金額が分かる書類
- 控除を受けるための証明書等
 - ・建設国保保険料、国民年金保険料・国民年金基金の掛金、農業者年金保険料等の掛金支払い証明書
 - ・生命保険料、長期損害保険料、地震保険料、小規模企業共済等の掛金支払証明書
 - ・医療費控除を受ける方は、領収書、おむつ使用証明書、在宅介護費用証明書等
※病院にかかった人ごとに金額を集計してお越しく下さい。
 - ・初めて住宅借入金等特別控除の適用を受ける方は新築住宅の登記事項証明書、請負契約書または売買契約書の写し、住民票、借入金年末残高証明書 ※初年度は税務署にて申告をお願いします。
 - ・配偶者特別控除を受ける方は配偶者の源泉徴収票など収入のわかるもの
 - ・障害者控除を受ける方は、身体障害者手帳等
 - ・ふるさと納税等による寄付金控除を受ける方は寄付を証する書
- その他
 - ・確定申告用紙(税務署より書類の送付があった方)
 - ・口座番号のわかるもの(納付・還付となる方ご本人のもの)
 - ・印鑑(認め印)

税務署からのお知らせ

年金所得者の申告手続不要制度について

平成23年分以後の各年分において、公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には所得税の確定申告は必要ありません。

※所得税の確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。また、所得税の還付を受ける場合や確定申告書の提出が要件となっている控除（例えば、純損失や雑損失の繰越控除など）の適用を受ける場合には、確定申告書の提出が必要となります。

国税庁ホームページの利用について

国税庁ホームページ内の左側中段にある「確定申告書作成コーナー」並びに「タックスアンサー」を利用しましょう。

「確定申告書等作成コーナー」は、画面の案内に従って金額等を入力することにより税額などが自動計算され、所得税及び復興特別所得税の申告書などを作成できる便利なシステムです。

なお、作成した申告書は、印刷して郵送により提出すること（書面による申告）ができます。

「タックスアンサー」は、国税に関するインターネット上の税務相談室です。よくある質問を、税金の種類ごと調べることができるので便利です。

－ 税に関する情報は国税庁ホームページへ www.nta.go.jp へ －

長野県からのお知らせ

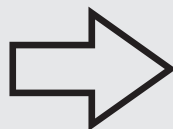
平成27年度から自動車税の増額割合が変わります

地球温暖化防止及び大気汚染防止のため、環境にやさしい自動車の普及促進のため、排出ガス性能及び燃費性能の優れた環境負荷の小さい自動車はその性能に応じ税額を一定期間減額し、初年度登録から一定期間を経過した環境負荷の大きい自動車は税額を増額する、自動車税のグリーン化特例が全国一斉に実施されています。

平成26年度地方税法の改正により、自動車税のグリーン化特例が見直され、環境性能の良い自動車の軽減割合を拡充するとともに、初年度登録から一定年数を経過した自動車の税額の増額割合が引き上げられました。

26年度まで

対象車	増額割合
新規登録から11年超 ディーゼル車	概ね 10%
新規登録から13年超 ガソリン車・LPG車	



27年度以降

増額割合 ※
概ね 15%

※バス及びトラックの増額割合は引き続き概ね10%です。増額期間は抹消登録までです。

26・27年度中に新車登録をした自動車で、排出ガス基準や燃費基準を達成している場合は翌年度の自動車税が軽減されます。

【お問い合わせ先】

インターネット →

長野県 グリーン化

で **検索**

長野県庁

税務課 自動車税係

☎026-235-7051

下伊那地方事務所

税務課 収税係

☎0265-53-0406

第四次総合振興計画後期計画施策評価

平成25年度進捗確認を行いました

指標による進捗確認「概ね計画どおり」以上の割合は、昨年度同様64%

村の総合振興計画は、平成22年度に住民の皆さんと行政の協働による「村づくり委員会」を組織し、見直しが行われ、平成27年度を目標年次とする五力年の後期計画が策定されました。後期計画は6つの基本構想に49の施策から構成されています。計画を確実に進めるために、昨年度に引き続き各施策ごとに進捗の確認を行いましたのでお知らせします。

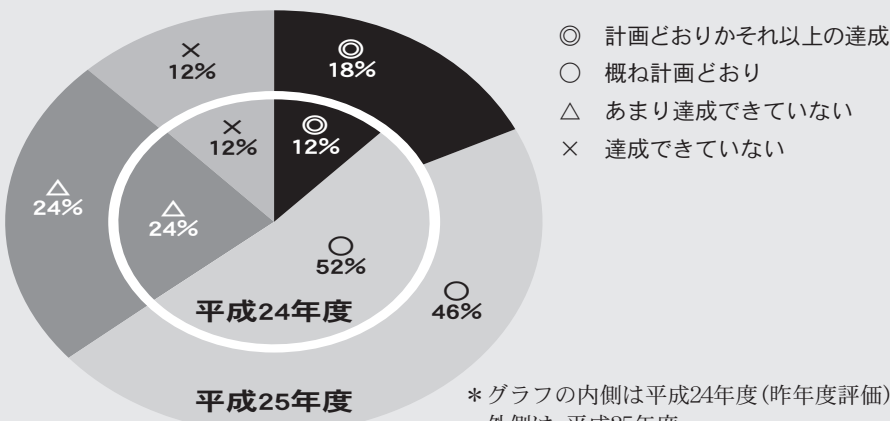
進捗の確認は、各施策ごとに進捗確認(評価)シートを作成し、事業状況や指標による評価、また今後の事業展開を確認しております。各施策の目標とする指標は計画全体で113項目あります。

なお、前回までは評価年度の確認時までの期間も含めた進捗確認を行っていましたが、今年からは前年度に対する進捗確認となっております。当年度の実績は反映しておりません。

平成25年度は、後期計画中間年の三年次目となりますが、「計画どおりかそれ以上の達成」または「概ね計画どおり」と評価したものが72項目で64%となり、前年比1項目の減となっております。また、「内訳で「計画どおりかそれ以上の達成」が6項目増えており27年度の目標年度に向け各事業が進捗していることを確認しました。一方、「あまり達成できていない」または「達成できていない」と評価したものが、41項目あります。今は必要としない項目もありますが、必要な項目については、どのように目標年までに達成するか今後の事業展開を示すとともに、次期計画への課題として掲載しました。

今回の結果については、今後の施策の推進や予算編成、また次期計画策定

目標とする指標の進捗評価【全指標113項目】



*グラフの内側は平成24年度(昨年度評価) 外側は、平成25年度

		◎	○	△	×	合計
H24年度 (H25.9月まで含む)	項目数	14	59	27	13	113
	割合	12%	52%	24%	12%	100%
H25年度	項目数	20	52	28	13	113
	割合	18%	46%	24%	12%	100%

ホームページ : <http://www.vill.takagi.nagano.jp/division/kikaku/hh.html>

功 労 章	喇叭長	木下 勝博
努 力 章	誘導長	林 克則
精 績 章	第三分団長	横前 幸彦
	第三副分団長	横前 和幸
技 術 章	第一分団長	内山 丞治
	機関長	砂場 信一
精 勤 章	第二分団長	市瀬 義彰
	第一副分団長	中山 友樹
	第二副分団長	知久圭一郎
	機関長	砂場 信一
	本部旗手	塩澤 英幸
第一分団班長	内山 博規	

優 秀 章	(分団表彰)	喬木村消防団第一分団
功 績 章	誘導長	林 克則
	喇叭長	木下 勝博
功 労 章	第一分団長	内山 丞治
	第二分団長	市瀬 義彰
	第三分団長	横前 幸彦
	第一副分団長	中山 友樹
	第二副分団長	知久圭一郎
	第三副分団長	横前 和幸
救護長	松澤 浩之	
第三分団班長	多田 英樹	

平成27年

喬木村消防団出初式で 表彰を受けられた皆さん

努力章	第一分団長	内山 丞治
	第二分団長	市瀬 義彰
	第三分団長	横前 幸彦
機関長		砂場 信一

平成27年度「地域発 元気づくり支援金」 事業募集のお知らせ

県では、共創・協働による県づくりを推進するため「地域発 元気づくり支援金」により、地域固有の資源を活用した市町村及び地域住民の主体的な活動の支援をしています。次のとおり平成27年度事業を募集していますので、積極的な活用をお願いします。

○募集期間

1月5日(月)～2月2日(月)

○対象事業

豊かさが実感でき、活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的・主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業

○補助率

- ・ソフト事業：対象事業費の3/4以内
 - ・ハード事業：対象事業費の2/3以内
- ※補助額の下限30万円

○平成27年度「県全域で重点的に推進するテーマ」

- 1 県と市町村との協働事業（平成25年度から継続）
- 2 自然エネルギーの普及拡大（平成24年度から継続）
- 3 障がい者、女性、若者の雇用促進、就業支援（平成24年度から継続）
- 4 地域防災力の向上（平成27年度から追加）
- 5 子育て支援（平成27年度から追加）



案内板設置（氏乗区）



ツリークライミング
（阿島区）

○事業対象団体

- (1) 市町村
- (2) 公共的団体等（公共的活動又は地域の活性化に取り組む団体）

○制度の概要、対象事業及び様式

長野県ホームページよりご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinko/kensei/shichoson/shinko/shienkin/index.html>

○お問い合わせ先

下伊那地方事務所地域政策課企画振興係 ☎53-0401 または
役場企画財政課 ☎33-5129

故山上隆文氏が叙勲を受けました

《死亡叙勲》旭日単光章を受章

元喬木村議会議員 ^{やま} 故山 ^{がみ} 上 ^{たか} 隆 ^{ふみ} 文氏（大島）

氏は、昭和60年6月に喬木村議会議員として当選以来、平成9年6月まで、3期12年の多年にわたり地域住民の代表として、地方自治の発展に大きく貢献されました。

氏は、平成26年9月19日に逝去されましたが、これらの功績が認められ、旭日単光章が授章されました。



2月の結婚相談日

○日時

2月21日(土)

○時間

午後7時～午後8時

○場所

福祉センター第1会議室

※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○問い合わせ先

喬木村社会福祉協議会
☎33-4567

1月の村税等

納期限	口座振替日
村県民税(第4期)	1月26日(月) ◎口座振替の方は預金の残高確認をお願いします。
国保税(第10期)	
介護保険料	
後期高齢保険料	
保育料	
上下水道料	

2月2日(月)

2月の健康体操教室

次の各会場で行います。どなたでも気軽にご参加いただけますので、是非お越し下さい。



対象地区	会場	開催日	開催時間
北	北コミュニティ消防センター	2/4,2/18	午前10時
郭・寺の前	第一公民館	2/6,2/20	午後1時半
婦牛原・加々須	婦牛原消防センター	2/2,2/16	午後1時半
町	阿島傘伝承館	2/25	午後1時半
南	南農事集会所	2/25	午前10時
馬場・両平・伊久間	福祉センター	2/9,2/23	午後1時半
上平	上平集落センター	2/13,2/27	午後1時半
田上川	田上川消防センター	2/2,2/16	午前10時
富田・大和知・氏乗	富田陶芸館	2/9,2/23	午前10時
大島	大島公民館	2/4,2/18	午後1時半

○筋力アップ体操教室

夜間の開催となります。どなたでもご参加いただけます。

開催日	会場	開催時間
2月7日(土)	福祉センター2階	午後7時半

問い合わせ先

役場 保健福祉課包括支援係 ☎33-1120

長野県シニア大学 飯伊学部学生募集

長野県シニア大学飯伊学部では、平成27年度の学生を募集します。

○入学資格

概ね60歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛で、積極的に地域活動を目指す方

○学習時間

学習期間は2年間です。年間の学習時間は60時間(年間15日×4時間)です。

○学習内容

地域活動を行うための幅広い分野の学習と実践を行います。

○授業料

年額8,500円 この他に、教材費や自治会費等の費用が必要です。

○申込方法

募集案内・入学願書は、役場保健福祉課にあります。

○申込期間

平成27年2月2日(月)～2月27日(金)

○申込・問い合わせ先

役場保健福祉課福祉係
☎33-5123
飯田保健福祉事務所福祉課
☎53-0464

自動車の登録・検査 手続きはお早めに

毎年、3月下旬は自動車の検査・登録申請が多く、窓口が大変混み合います。車検の手続きは、1ヶ月前から受検できますのでなるべく2月中旬に、廃車・名義変更等の手続きは3月中旬までに申請されるようお願いいたします。

○問い合わせ先

松本自動車検査登録事務所
(登録) ☎050-5540-2043
(検査) ☎0263-185-13582

平成27年度 自衛官等募集

募集種目	資格	受付期間	試験期日
幹部候補生	一般	3月1日～5月1日	1次 5月16・17日 2次 6月16～19日
	歯科		3月1日～5月1日
	薬剤科	20歳以上28歳未満の者	
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて受付中	受付時にお知らせ
予備自衛官補	一般	受付中～3月24日	4月10日～14日
	技能		

○問い合わせ先

自衛隊長野地方協力本部
飯田出張所
☎22-2613

たかぎの未来を共に創るう！

In ふるさとづくりフォーラム

第5次喬木村総合計画策定に向けて、むらづくり未来委員会では「ワークショップ」を下記の日程で行います。

ワークショップでは、皆さんが感じている村の“のびしたいところ”“変えたいところ”を自由に出していただき、村の将来像について考えます。

村民の皆様の考えを今後の“むらづくり”に活かしていきたいと思っておりますので、ぜひ多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

●日 時：平成27年2月15日（日） 午後2時15分～4時30分
（第32回ふるさとづくりフォーラム内で開催）

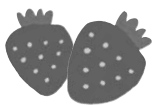
●場 所：喬木村福祉センター2F 多目的ホール

●共 催：むらづくり未来委員会・ふるさとづくりフォーラム実行委員会

お問い合わせ先

役場 企画財政課 Tel：(0265) 33-5129

公民館事務局 Tel：(0265) 33-2002



いちごチャンネル ～2月 放送のご案内～

2月は小中学生の「村に寄せる作文」「椋鳩十読書感想文」コンクール受賞作品を、ご本人の朗読でお送りします。

2 / 7 (土) ～ 2 / 13 (金)	2 / 14 (土) ～ 2 / 20 (金)
《中学校の皆さんの作文》	《第一小学校の皆さんの作文》
<村に寄せる作文>	<村に寄せる作文>
3年生 米山 一輝さん (村長賞)	4年生 伊藤 静流さん (村長賞)
3年生 土居野乃子さん (優秀賞)	5年生 河尻 幹太さん (佳作)
2年生 山田 皓祐さん (佳作)	4年生 中園 薪さん (佳作)
2年生 村山 由夏さん (佳作)	<椋鳩十読書感想文>
	2年生 羽生 彩華さん (椋鳩十賞)
	4年生 内山ひなたさん (優秀賞)
	《第二小学校の皆さんの作文》
	<村に寄せる作文>
	6年生 岩間 春菜さん (優秀賞)

作文の放送時間は・・・ 上記の期間中、毎日

9:00～ 10:00～ 12:00～ 15:00～
19:00～ 20:00～ 21:00～

の時間の週刊たかぎニュース終了後に放送します。

小さくても
確かな一歩。

地域おこし協力隊だより

* Vol.19 *



東京の百貨店で野菜を販売してきました！

from
稲吉



12月19日、東京有楽町にある東京大丸店にて、東京では珍しい『野沢菜』と、まったく知られていない『飯田かぶ菜』を販売してきました。試食品や漬物レシピを用意し、わたし自身が店頭で立って喬木村のPRや大島の気候についてといった付加価値を消費者に対して話すことができ、消費者の方々もみな納得して買い物される。まさに農家さんが理想とする販売方法で用意していた1キロ×80束をすべて完売することが出来ました。

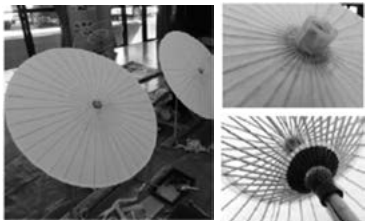


わたしは今後も大島の気候で育った野菜をより多くの方に食べてもらい、知ってもらい、覚えてもらいたいと思っています。大島野菜の需要が上がれば地域も今以上に元気になり活性化につながると思っているので、これからも新たな販路の拡大に従事していきたいです。

from
下平

下平の阿島傘づくり体験日記①

もともと日本の古いものが好きな私にとって、喬木の伝統工芸「阿島傘」はとって気になる存在。現在「阿島傘の会」の皆さんにお世話になりながら、阿島傘づくりを体験させてもらっています。まだまだ途中段階ですが、その過程をご紹介します。



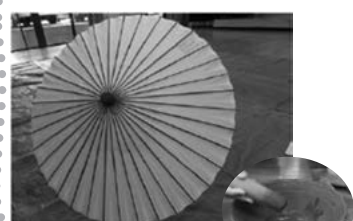
10/16 軒付け・大張り・天吊張り

竹の骨組みに、和紙を貼っていきます。右の写真、平面のものを立体に貼っていくのが本当に難しい!!



10/31 白しはん・頭包み

きれいにたためるよう、折りクセをつけていきます。これはベテランの技が必要なので小林会長さんに仕上げをしてもらいました。



11/28 赤塗り

紅がらを柿渋で溶いた塗料を、骨の部分だけに塗っていきます。気をつけないと骨の外まで塗料がはみ出てしまいます。



かなり端折ってしまいましたが、ここまでくるのにとても手間がかかっています。また、糊などを乾かす関係で天候にも左右されます。改めて手仕事の大変さ、その尊さを感じました。今後も完成までこちらでご報告していきます☆



from
草柳

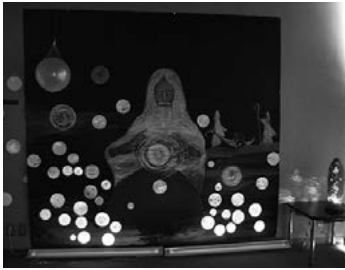
私事で恐縮ですが、年明けから産休に入らせていただいております。里帰り出産後は喬木村へ戻ってくる予定ですので、今後ともよろしくお願いたします!!

from
草柳

椋鳩十記念館 だより

第96号

椋鳩十記念館・記念図書館 TEL 33-4569 FAX 33-4599



光のアート展
椋鳩十作「ふしぎな玉」より

第27回椋鳩十夕やけ祭 開催

平成26年11月22日、喬木村福祉センターにおいて「第27回椋鳩十夕やけ祭」が開催されました。今年も、喬木第一小学校合唱部の児童の皆さんの美しい歌声から開会行事が始まりました。今年は「心の海」に加え、椋先生作詞の「昔なじみ」も披露してくれました。



夕やけ祭 講師
たかどのほうこさん

図書館では、11月8日(土)に村の文化祭で飯田女子短期大学子ども文化研究会の学生さんによる『人形劇』(社協と共催)、12月13日(土)に『お天気おじさんのわくわく実験』(学遊館と共催)などが行われました。



図書館イベントより

開会行事終了後に行われた、椋鳩十賞読書感想文コンクール表彰式では、椋鳩十賞5名、優秀賞5名の皆さんへの表彰と、代表者2名による感想文発表が行われました。
また、児童文学者で絵本作家のたかどのほうこさんによる『子どもの本と私』と題した記念講演会では、子どもの本をどのように作り上げていくのかを、幼少の体験や思い、そしてこだわりなどを交えてお話ししていただきました。時間いっぱい次々にあふれる言葉、サイン会でも一人一人にイラスト入りのサインを丁寧にしてくださるすてきな方でした。



学生さんたちとのふれあい

れた幻想的な雰囲気を楽しめることが出来ました。

また12月のギャラリー展では、飯田養護学校寄宿舎の作品展がクリスマスらしい賑やかさを、そして階段から2階では企画展「光のアート」としてブラックライトに照らさ

ました。
おはなしのへやでは、12月10日にクリスマスコンサートとして、サクスの高橋さんとお友達の赤木さんがサンタになって就園前の親子に楽しい音楽のプレゼントをしてくれました。

わくわく実験では、お天気おじさん土井雅彦さんのお話と、自分で雲を作ってみる実験に子どもも大人も興味津々！70人近い参加者が、雲ができる歓声を上げたり、またお天気の質問をして答えてもらったりと、大変良い機会になりました。



高橋さん、赤木さん おはなしのへや



お知らせ

『1月のおたのしみ会について』
1月24日(土)のおたのしみ会は、「ぬいぐるみおとまり会(おはなし会&かんたん工作付き)」を予定しています。今あちこちの図書館でも始まっているのですが、あなたのぬいぐるみを図書館にお泊りさせてみませんか？夜の図書館でぬいぐるみは何をするのか？

ぬいぐるみをお泊りさせなくても、おはなし会と工作は参加自由です。詳細は図書館からのチラシでご確認いただくか、または図書館までお問い合わせください。
*ぬいぐるみをお泊りさせた人は図書館までお申し込みください。



12月のギャラリー展
「飯田養護学校寄宿舎作品展」

ギャラリー展へどうぞ！

- 「第19回喬木村風景写真展」
(1/6〜2/1)
- 「喬木第二小学校児童陶芸展」
(2/3〜2/22)

クリスマス会

北保育園



1歳児「へんしんミルクくん」可愛いでしょ！

きれいな歌声の年長児
～クリスマスのうたが・・・♪～



「みんなで遊んでね！」
「サンタさんありがとう」

中央保育園



未満児「いちご組」
ステージに上がり、ノリノリのダンス♪

未満児「もも組」
ツリーの前でトナカイになった子ども達と、サンタの先生
「クリスマス会楽しかったね。」



サンタサンにプレゼントをいただきました。
「サンタさん、ありがとうございました。」

南保育園



いちご、もも組がサンタさんの帽子を被って踊りました

年少、中組は『3びきのこぶた』の劇をしました
「おいそうなこぶただ！食べちゃうゾ！」



サンタさんがプレゼントを持ってきてくれました
「サンタさん ありがとう」

保育園だより

北保育園・中央保育園・南保育園

No.64

学校だより

No.173

喬木中学校

学友会を引き継ぎました

11月に学友会役員選挙の立会演説会、投票が行われ、新しい正副会長が選出されました。そして、12月末の学友会総会の場で新役員承認がされました。いよいよ3年生からバトンを受け、2年生が学友会を引き継ぎます。3年生がいるうちにたくさんのことを教わり、充実した活動にしていきたいです。



演説前 緊張の候補者たち



意中の候補に一票



学友会総会にて新役員紹介



ファイルも引き継ぎます



引き継ぎ会で3年生から仕事を教わりました



3年生の皆さん、ありがとうございました

健康アツプPPK

保健福祉課

電話(直通) 33-5125
FAX 33-3679

今月のテーマ

年1回は、生活習慣病予防の
特定健診を必ず受けましょう！

【健康推進係】

特定健診を受けていただいていたありがとうございます！
平成25年度特定健診受診結果は71.3%でした。

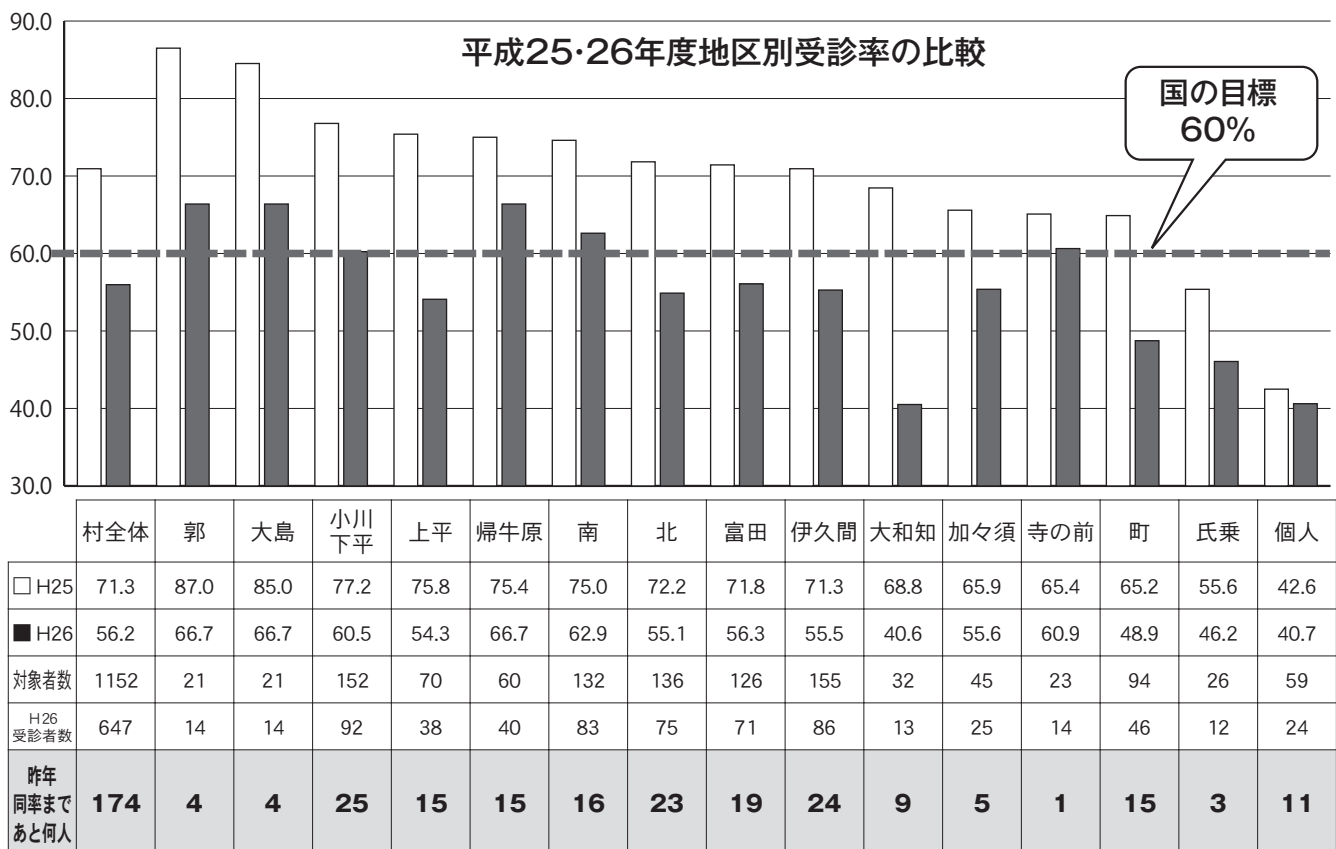
特定健診を
受けていただいて
ありがとうございます！
ございました！



～皆様のご協力のおかげでH25年度も県内1位の受診率でした～

下のグラフは、国保に加入している40～74歳の方で健診を受けられた方の割合です。
H26年度は11月末までの健診受診状況の中間報告です。

【特定健診地区別受診状況】 H26.11月末現在



自覚症状もなく、密かに進む生活習慣病を見つけるには“健診”です！

- ★H26年度の健診は、H27年3月31日までに受診した健診結果です。
- ★今年健診を受けられていない方は、3月まで医療機関で個別に受けることができます。
人間ドックの結果も含まれます。ぜひ受診をお願いします。
(受診券が必要です。お持ちでない方はご連絡ください。)
- ★40～74歳の国保加入の方で、職場・かかりつけ医等の血液検査結果がある方は、健康推進係まで提出をお願いします。



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



昨年10月1日から始まった共同募金は12月31日をもって終了いたしました。地域の皆様方にはたくさんの善意をありがとうございました。この募金は、長野県共同募金会へ送金し、来年度地域福祉事業費として喬木村に配分されます。今年度の募金額の報告は追ってご報告いたします。

ボランティア募集

飯田養護学校「あじまっ鼓太鼓発表会」 ボランティア募集

日時：平成27年2月7日（土）
8時30分～16時30分の都合の良い時間
場所：鼎文化センター
内容：太鼓の出し入れ、食事やおやつ等の配布、駐車場係
※希望の内容と異なることもあります。またボランティアの内容により集合時間が異なります。
問合せ先：喬木村社協ボランティア係

語学ボランティア募集～中国語～

仕事・趣味等で習得した語学力は使わないと忘れてしまうことがあります。
自分のため、地域の子どもたちのためにその語学力をいかしてみませんか？

まずは社協まで
お問合せください！



2月のお知らせ

*心配ごと相談

6日（金）午前10時～ 福祉センター
民生児童委員・行政相談員・中村弁護士による
法律相談も合わせて行います。

参加者募集

平成26年度

飯伊ブロックボランティア交流研究集会

日時：平成27年2月7日（土）
11時～15時30分
会場：豊丘村交流学習センターゆめあると
参加費：200円（軽食付き）
内容：講演会「土砂災害から命を守る」
～事前の備えと避難のあり方～
講師：飯田市危機管理室防災係長 後藤武志氏
その他：飯伊地区で活動をしているボランティアグループの活動発表と交流
○持ち寄り特産市ではボランティア・地域活動グループの美味しいものや手作り品の販売
参加申込：喬木村社協ボランティア係
【主催】飯伊ブロック社会福祉協議会

ご報告

赤い羽根共同募金配分金事業

歳末おせちづくりを行いました

12月30日に、課題を抱えている人に配布する手作りのおせちづくりを、ふるさと味の会のボランティアの方による調理、又民生委員の方に配布をしていただきました。年末の忙しい時期ですが、おせちを楽しみにされている方へ毎年届けられています。ご協力ありがとうございました。





村の話題・出来事



11月23日(日)

◆第8回関東地区喬木村ふるさと会

東京・埼玉・神奈川・千葉など関東地区にお住まいの喬木村出身者による関東地区ふるさと会が開催されました。



11月25日(火)

◆第一小学校4年生阿島傘づくり体験学習

村の伝統工芸品「阿島傘」づくりを、第一小学校4年生が体験しました。皆さん真剣な眼差しで取り組んでいました。



12月7日(日)

◆ABNふるさとCM大賞「アイデア賞受賞」

ふるさとCM大賞最終審査会に進出した地域おこし協力隊制作のCM「なんて読む? 喬木村」がアイデア賞を受賞しました。



12月9日(火)

◆保育園お餅つき(北保育園)

各保育園では年末恒例のお餅つきを体験。あんこやきなこなどをつけ、子供たちは美味しそうにほおばっていました。



11月25日(火)

◆下段地域公共交通実証運行検討委員会

下段地域公共交通実証運行検討委員会が発足し、27年度実施予定の実証運行について検討が始まりました。



◆飯田養護学校から手作りカレンダーをいただきました

毎年手作りで作成してくださる飯田養護学校のカレンダーが届きました。いつも素晴らしい作品をありがとうございます。